

ドットインパクトプリンター

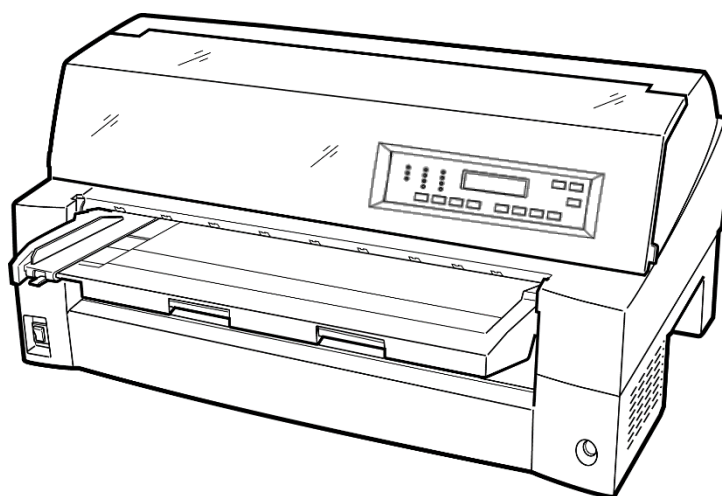
**DP180FI**

**DP140FI**

**DP80FI**

プリンター装置

## LAN 接続設定ガイド



兼松エレクトロニクス株式会社

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに .....</b>	<b>2</b>
1.1	概要 .....	2
1.2	本書中の表記について .....	3
1.3	関連ドキュメント .....	4
1.4	動作環境 .....	5
1.5	機器の説明 .....	5
1.5.1	各部の名称と動き .....	5
1.5.2	ネットワークに接続する .....	6
<b>2</b>	<b>Windows 環境での使用 .....</b>	<b>7</b>
<b>3</b>	<b>プリンターLAN 設定ツールによる簡単設定 .....</b>	<b>9</b>
3.1	インストール .....	9
3.2	操作方法 .....	13
3.2.1	IP アドレスの設定 .....	13
3.2.2	プリンター専用 TCP/IP ポートの追加 .....	17
3.2.3	プリンターポートの変更 .....	20
<b>4</b>	<b>Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する .....</b>	<b>22</b>
<b>5</b>	<b>Web ブラウザで設定する .....</b>	<b>27</b>
5.1	Web ページを表示する .....	27
5.2	Web ページから設定する .....	28
5.3	Web ページメニュー構成 .....	28
5.4	Web ブラウザ設定項目 .....	29
5.4.1	プリントサーバ機能 .....	29
5.4.2	E-Mail 送信機能 .....	32
5.4.3	5250E 接続機能 .....	33
5.4.4	LPR5250 接続機能 .....	37
5.4.5	IBMi からの外字印刷 .....	40
<b>6</b>	<b>トラブルシューティング .....</b>	<b>45</b>
6.1	導入時の問題 .....	45
6.2	印字時の問題 .....	47
6.3	Windows TCP/IP 環境での問題 .....	48
6.4	IBMi 接続環境での問題 .....	49
<b>7</b>	<b>使用上の注意 .....</b>	<b>50</b>

---

# 1 はじめに

---

## 1.1 概要

本書は、DPxxxFI シリーズのネットワーク接続における設定およびご利用方法を記載しています。DPxxxFI シリーズは、標準で LAN カード (PR-LN4K) が装備されています。正しく安全にお使いいただくために、ご熟読ください。

ネットワーク環境で Windows プリンタードライバをご使用の際は、プリンターのネットワーク設定及びプリンター専用ポートの作成が必要です。PR-LN4K のネットワーク設定は、[プリンターLAN 設定ツール]をお使いいただくと簡単に設定することができます。

本書内の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

## 1.2 本書中の表記について




本書では下記製品を、略語で表記します。

また、「すべてのプログラム（アプリ）」、および「プリンターの追加」は、Windows オペレーティングシステムにより手順（説明内容）が異なる場合があります。

次ページの手順をご覧になり、ご使用の Windows オペレーティングシステムに該当する表現に読み換えてください。

製品名称	本書での表記(略語)	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	Windows	2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		
Windows® 10 Education (64 ビット版/32 ビット版)		10
Windows® 10 Enterprise (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 10 Pro (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 10 Home (64 ビット版/32 ビット版)		2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials		8.1
Windows® 8.1 Enterprise (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 8.1 Pro (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 8.1 (64 ビット版/32 ビット版)		2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials		2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise		
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard		
Windows® 7 Ultimate (32 ビット版/64 ビット版)		7
Windows® 7 Enterprise (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Professional (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Home Premium (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Starter		2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (32-bit/64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (32-bit/64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)		

## ■ すべてのプログラム（アプリ）

オペレーティングシステム	手順
Windows 10	デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン  をクリック→[すべてのアプリ]を選択します。
Windows 8.1 / 2012 R2	(1) スタート画面を開き、マウスを画面下部に移動させます。 (2) 下矢印  が表示されますので、クリックします。
Windows 2012	スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ]をクリックします。
Windows 7	デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン  をクリック→[すべてのプログラム]を選択します。
Windows 2008 R2 / 2008	[スタート]→[すべてのプログラム]を選択します。

## ■ プリンターの追加

オペレーティングシステム	手順
Windows 8.1 / Server 2012 以降	(1) [Windows ロゴ]キー + [X]キーを押し、画面左下にショートカットメニューを表示させます。 <sup>(注 1)</sup> (2) [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] <sup>(注 2)</sup> - [デバイスとプリンター]を選択し、[プリンターの追加]をクリックします。
Windows 7 / Server 2008R2	[スタート] <sup>(注 3)</sup> - [デバイスとプリンター] - [プリンターの追加]をクリックします。
Windows Server 2008	[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンター] - [プリンターの追加]を選択し、[管理者として実行]をクリックします。 [ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示された場合には、[許可]をクリックします。

注 1) Windows 10, Version 1703 以降のときは、[スタート]→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]を選択します。

注 2) Windows Server オペレーティングシステムでは、[ハードウェア]と読み替えてください。

注 3) [スタート]とは、デスクトップ画面左下の Windows ロゴが付いたボタンを表します。

## 1.3 関連ドキュメント

下表に関連するドキュメントを示しますので、適宜ご覧ください。

取扱説明書	参照フォルダーとファイル名
DP180FI/DP140FI	¥MANUAL¥DP180FI_DP140FI_MANUAL. pdf
DP80FI	¥MANUAL¥DP80FI_MANUAL. pdf

## 1.4 動作環境

### ▶ ホストハードウェア

- (1) 100BASE-TX/10BASE-T ネットワークインターフェースを備え、Windows オペレーティングシステムが動作するパーソナルコンピュータ。
- (2) [プリンターLAN 設定ツール]を使用するには、“.NET Framework2.0” 以上が必要です。インストールされていない場合は、Microsoft 社ホームページから、“.NET Framework2.0” を入手し、インストールしてください。

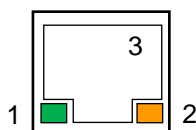
### ▶ 実行条件

[プリンターLAN 設定ツール]を実行するには、管理者権限が必要です。  
実行する際は、Administrators のアカウントでログインしてください。

## 1.5 機器の説明

### 1.5.1 各部の名称と動き

#### ■ パネル部



#### (1) S (Speed) LED (緑)

接続先を 100BASE-TX と認識したときに点灯します。  
未接続のとき又は接続先を 10BASE-T と認識したときに消灯します。

#### (2) L/A (Link/Act) LED (橙)

100BASE-TX 又は 10BASE-T でリンクが確定したときに点灯します。  
パケットを受信したときに点滅します。

#### (3) ネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX 自動認識)

ネットワークケーブル (100BASE-TX 環境では、カテゴリ-5 以上) を接続します。

#### ■ DIP スイッチ部



#### (1) SW1 (DHCP切り替え)

OFF のとき、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) が有効になります。

ON (注1) のとき、DHCP が無効になります。

#### (2) SW2 (設定初期化)

SW2 をオンにしてプリンターの電源を投入すると、PR-LN4K の IP アドレスやサブネットマスクの設定を初期化します。

#### (4) SW3 (設定印字)

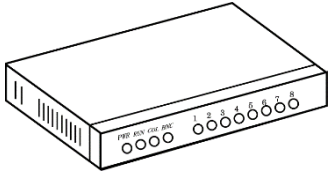
SW3 をオンにしてプリンターの電源を投入すると、LAN カードに設定されている IP アドレスなどの情報を印字します。

注 1) DHCP “無効” のときの IP アドレス初期値は、192.168.192.168、サブネットマスクは、255.255.255.0 です。

注 2) SW4 は予備です。

## 1.5.2 ネットワークに接続する

PR-LN4Kをネットワークに接続するために、以下のものをご準備ください。



イーサネットハブ (HUB)



ネットワークケーブル

注) 100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE-TX 対応のイーサネットハブ (HUB) とネットワークケーブル (カテゴリ 5 以上) をご使用ください。

### ■ ネットワークへの接続方法

1. プリンターの電源が OFF になっていることを確認します。
2. PR-LN4Kのネットワークポート (100BASE-TX/10BASE-T) にネットワークケーブルを接続します。
3. イーサネットハブ (HUB) に、ネットワークケーブルのもう一方を接続します。
4. プリンターの電源を ON にし、PR-LN4Kの "L/A LED (橙)" が点灯することを確認します。

## 2 Windows 環境での使用

本章では、Windows 環境で本製品を接続し、TCP/IPプロトコルで印字する方法について説明します。本製品をTCP/IPプロトコルを利用して印字する際の手順は以下の通りです。

パソコンのネットワーク設定を確認する



プリンターLAN設定ツールを使用し、IPアドレスを設定する



プリンターLAN設定ツールを使用しプリンターポートを設定する



印字

注 1) あらかじめプリンタードライバをご使用のパソコンにインストールしてください。

注 2) 設定を行うには、管理者権限 (Administrator) が必要です。

注 3) 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[許可]または[はい]を選択してください。

注 4) 本書中の IP アドレスは設定例です。お使いの環境にあった IP アドレスに読み替えてください。



### ガイド

Windows 標準の印刷クライアントで印字を行う場合は、「Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する」をご覧ください。

### ■ インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) の確認方法

1. [スタート] - [コントロールパネル]<sup>(注1)</sup> - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワーク接続の管理]<sup>(注2)</sup> - [ローカルエリア接続]を選択します。

注 1) [コントロールパネル]を開く方法は、Windows オペレーティングシステム毎に異なります。

- Windows 7 / 2008 / 2008R2 のとき

⇒ 画面左下の[スタート]ボタン、またはWindows ロゴの付いたスタートボタンを押します。

- Windows 8.1以降のとき

⇒ [Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから[コントロールパネル]を選択します。

- Windows 10, Version 1703以降のとき

⇒ 画面左下の[スタート]ボタンを押し、[Windows システムツール]から[コントロールパネル]を選択します。

注 2) Windows 7以降のときは、[アダプターの設定の変更]を選択します。

2. [ローカルエリア接続の状態]のプロパティを開きます。

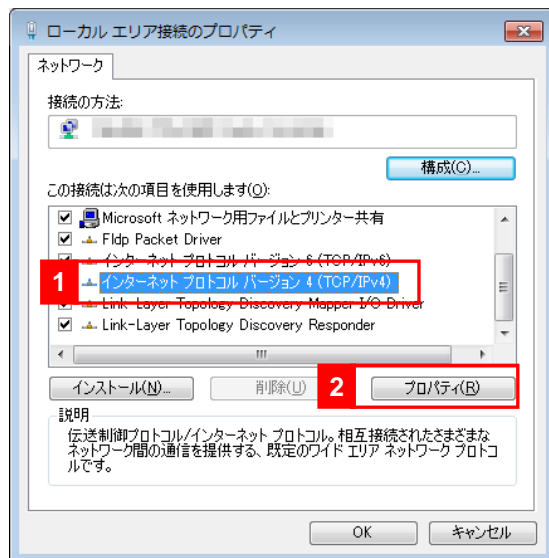


### ガイド

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[続行]または[はい]を選択してください。

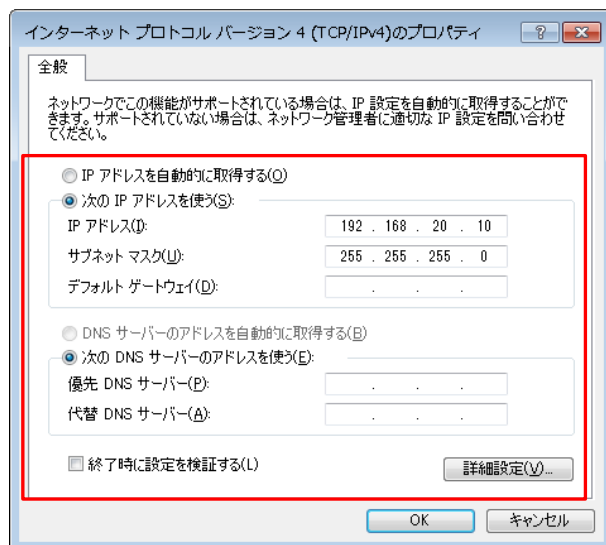


3. [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] が追加されていることを確認して、[プロパティ(R)] ボタンをクリックします。



注 1) [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]が一覧にない場合は、[インストール] をクリックし、[ネットワーク機能の種類の選択] - [プロトコル] - [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選択、追加してください。

4. [全般] で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認します。



---

## 3 プリンターLAN 設定ツールによる簡単設定

---

### 3.1 インストール

[プリンターLAN 設定ツール]は、下記手順でインストールします。

- 1 「セットアップディスク」をパソコンのCDまたはDVDドライブにセットします。



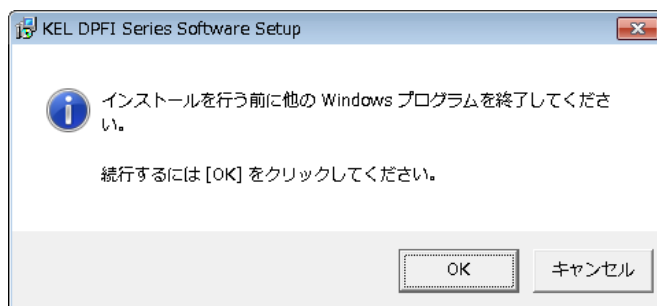
#### ガイド

- ・「自動再生」ウィンドウが表示されたときは、実行されるプログラムを確認し、[DPFISSET.EXEの実行]をクリックします。
- ・ Windows 8.1 以降の Windows オペレーティングシステムでは、セットアップディスクをパソコンの CD または DVD ドライブにセットすると、「タップして、リムーバブルドライブに対して行う操作を選んでください。」、または「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択すると、デスクトップ画面に切り替わり、セットアップディスクの一番上の階層が表示されますので、「DPFISSET.EXE」をダブルクリックしてください。  
このメッセージ画面はしばらくすると消えてしまいます。そのときは、「エクスプローラー」などを使用して CD または DVD ドライブを開き、一番上の階層にある「DPFISSET.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・ 本セットアッププログラムが自動的に表示されないときは、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「DPFISSET.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックしてください。

- 2 [ユーザーソフトウェア (PR-LN4K) のインストール] をクリックします。



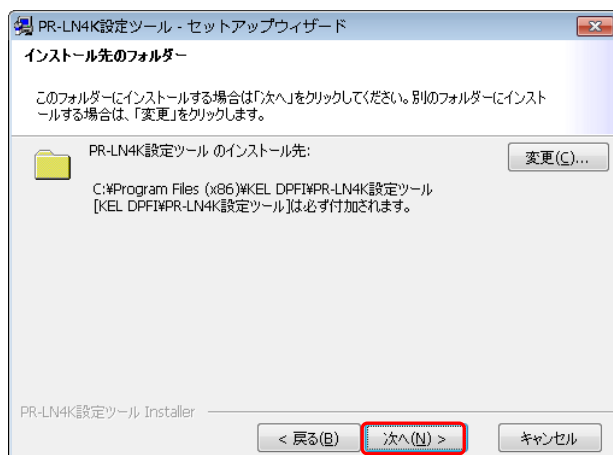
- 3 下記画面が表示されます。[OK] をクリックします。



- 4 下記画面が表示されます。[次へ(N)] をクリックします。



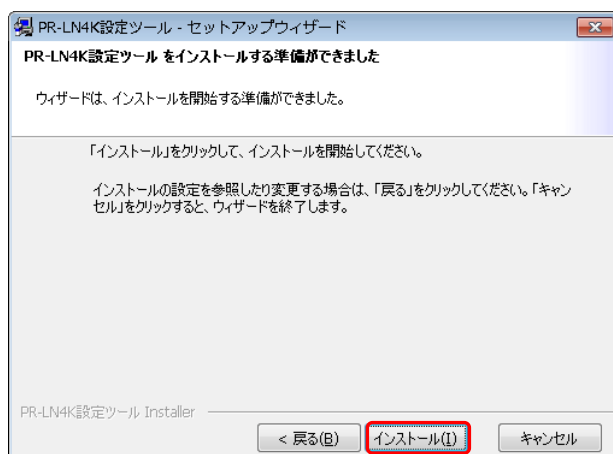
5 インストール先フォルダーを確認して、[次へ(N)]をクリックします。



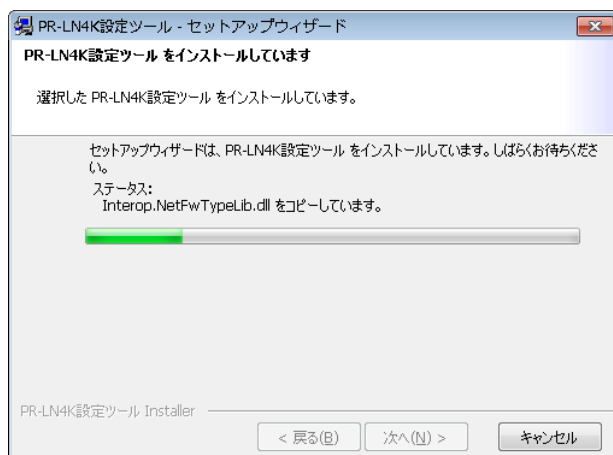
ガイド

- ・ [変更(C)]をクリックすると、インストール先フォルダーを変更することができます。

6 [インストール(I)]をクリックします。



7 インストール中は下記画面が表示されます。インストールが完了するまで、お待ちください。



8 下記画面が表示されたら、インストール完了です。[完了(F)]をクリックします。



## 3.2 操作方法

### 3.2.1 IP アドレスの設定

ここでは、[PR-LN4K 設定ツール]を使用し、LAN カード(PR-LN4K)の IP アドレスの設定方法について説明します。

[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたときは、[許可]または[はい]をクリックしてください。

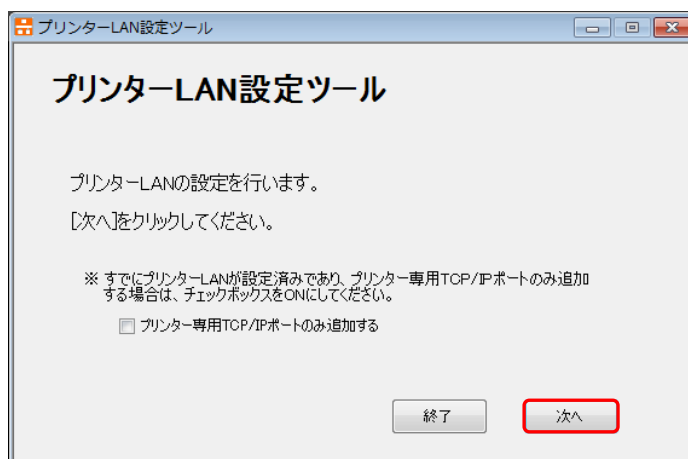
- 1 すべてのプログラムから、[PR-LN4K設定ツール]をクリックします。



#### ガイド

画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■すべてのプログラム（アプリ）」を参照してください。

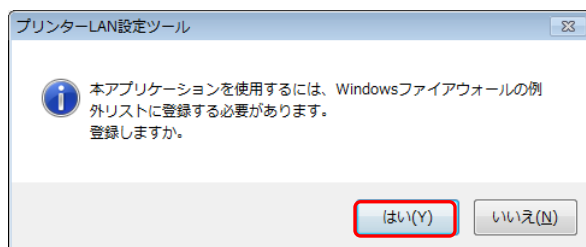
- 2 下記画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。



#### ガイド

プリンター専用 TCP/IP ポートの追加のみを行うときは、「プリンター専用 TCP/IP ポートのみ追加する」にチェックを付けて、[次へ]をクリックします。  
(『3.2.2 プリンター専用 TCP/IP ポートの追加』参照)

- 3 [はい]をクリックします。



- 4 プリンターを検索する画面が表示されます。

- 5 検索結果から、設定を行うプリンターを選択し、[次へ]をクリックします。

プリンターLAN設定ツール

### プリンターLAN設定 (1/3)

#### ポート選択

ポート設定  
検索結果

IPアドレス	MACアドレス

検索

戻る 次へ



#### ガイド

- ・ プリンターが見つからないときは、再度[検索]ボタンをクリックします。
- ・ MAC アドレスは、LAN カードのシール表示を確認してください。
- ・ DHCP サーバを搭載していない環境下で、DHCP="有効"に設定しているプリンターを検索したときは、IP アドレスに 0.0.0.0 と表示されます。

- 6 IPアドレスを設定します。

- ・ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得するとき

プリンターLAN設定ツール

### プリンターLAN設定 (2/3)

#### LAN設定

DHCP 有効

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

戻る 次へ

DHCP を"有効"にして、[次へ]をクリックします。

- ・ 手動でIPアドレスを設定するとき

プリンターLAN設定ツール

### プリンターLAN設定 (2/3)

#### LAN設定

DHCP 無効

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

戻る 次へ

DHCP を"無効"にします。  
お使いの環境に合わせ、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定して、[次へ]をクリックします。

7 設定内容を確認して、[実行]をクリックします。

- ・DHCPサーバからIPアドレスを自動取得するとき

プリンターLAN設定ツール

### プリンターLAN設定 (3/3)

#### LAN設定確認

DHCP	有効
------	----

戻る 実行

- ・手動でIPアドレスを設定するとき

プリンターLAN設定ツール

### プリンターLAN設定 (3/3)

#### LAN設定確認

DHCP	無効
IPアドレス	192.168.20.185
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	0.0.0.0

戻る 実行



#### ガイド

設定内容に誤りがあったときや IP アドレスの変更を行うときは、[戻る]をクリックして設定し直してください。

8 プリントサーバ (LANカード:PR-LN4K) に設定する [rootパスワード] を入力し、[OK] をクリックします。

プリンターLAN設定ツール

#### rootパスワードを入力してください

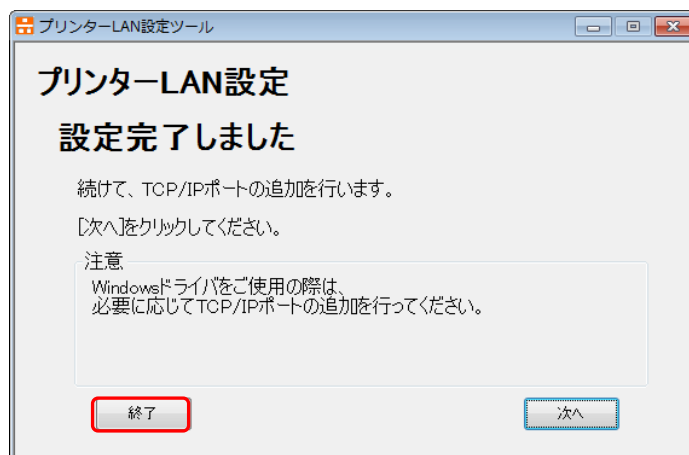
パスワード

\* 工場出荷時設定の場合は、パスワードは設定されていませんので、ブランクのまましてください。

OK



- 9 下記画面が表示されたら設定完了です。[終了]をクリックします。



#### ガイド

- ・ 続けて、プリンター専用 TCP/IP ポートを作成するときは、[次へ]をクリックします。  
『3.2.2 プリンター専用 TCP/IP ポートの追加』の手順 3. の画面が表示されます。
- ・ IP アドレス以外に、更に詳しい設定変更を行うときは、Web ブラウザ経由で設定することができます。（『5. Web ブラウザで設定する』参照）

### 3.2.2 プリンター専用 TCP/IP ポートの追加

ここでは、[PR-LN4K 設定ツール]を使用し、LAN カード(PR-LN4K)のプリンター専用 TCP/IP ポートの追加方法について説明します。  
[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたときは、[許可]または[はい]をクリックしてください。

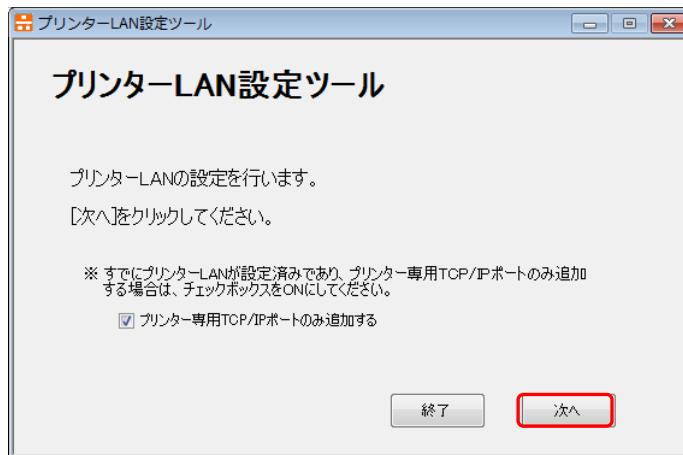
- 1 すべてのプログラムから、[PR-LN4K設定ツール]をクリックします。



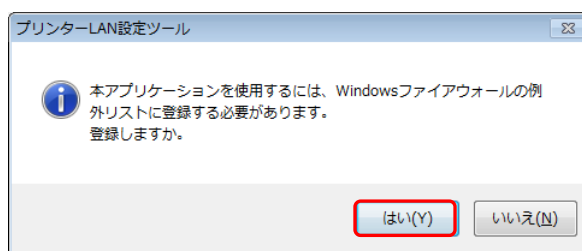
#### ガイド

画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■すべてのプログラム（アプリ）」を参照してください。

- 2 下記画面が表示されますので、「プリンター専用TCP/IPポートのみ追加する」にチェックを付けて、[次へ]をクリックします。

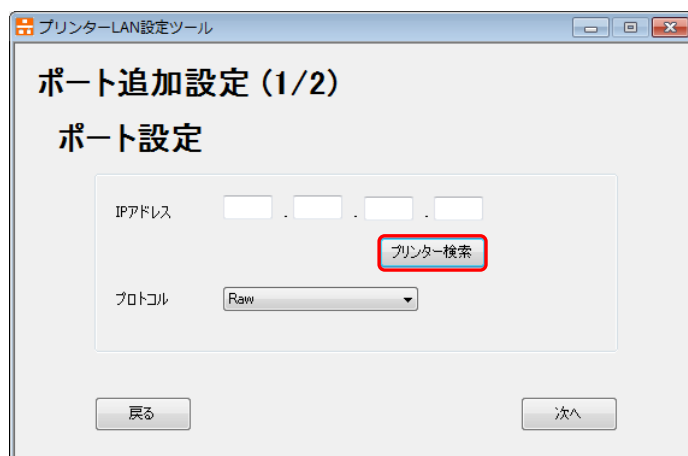


- 3 [はい]をクリックします。



4 [プリンター検索]をクリックします。

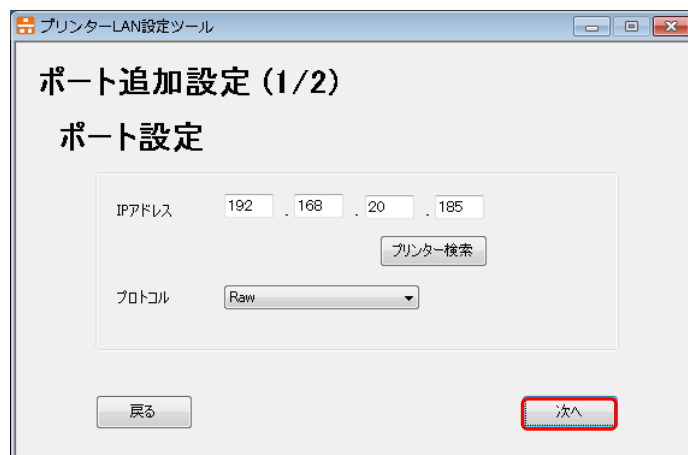
複数プリンターが検索されたときは、選択画面が表示されますので、プリンター専用TCP/IPポートを作成するIPアドレスを選択します。



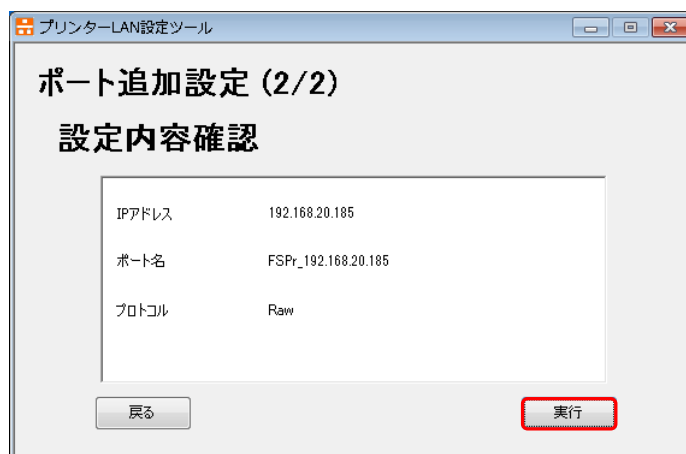
**ガイド**

IP アドレスの設定に続けてプリンター専用 TCP/IP ポートの作成を行ったときは、本画面は表示されません。

5 [次へ]をクリックします。

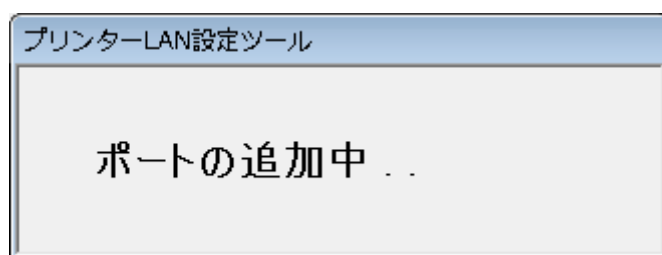


- 6 設定内容を確認して、[実行]をクリックします。

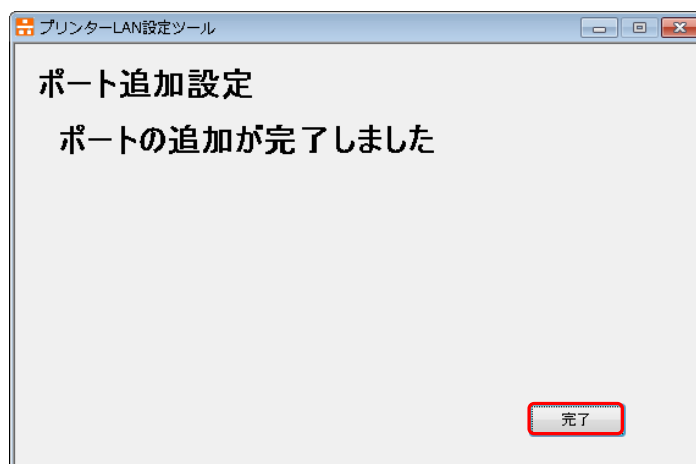


#### ガイド

設定内容に誤りがあったときや IP アドレスの変更を行うときは、[戻る]をクリックして設定し直してください。



- 7 下記画面が表示されたら設定完了です。[完了]をクリックします。



#### ガイド

[PR-LN4K 設定ツール]を使用してプリンターポートを追加したときは、Windows プリンタードライバのポート設定を変更する必要があります。  
変更方法は、『3.2.3 プリンターポートの変更』を参照してください。

### 3.2.3 プリンターポートの変更

ここでは、プリンターポートの変更方法について、Windows 7 環境の KEL DP80FI プリンタードライバの画面例で説明します。

異なるモデルをお使いのときは、お使いのモデルに読み替えてください。

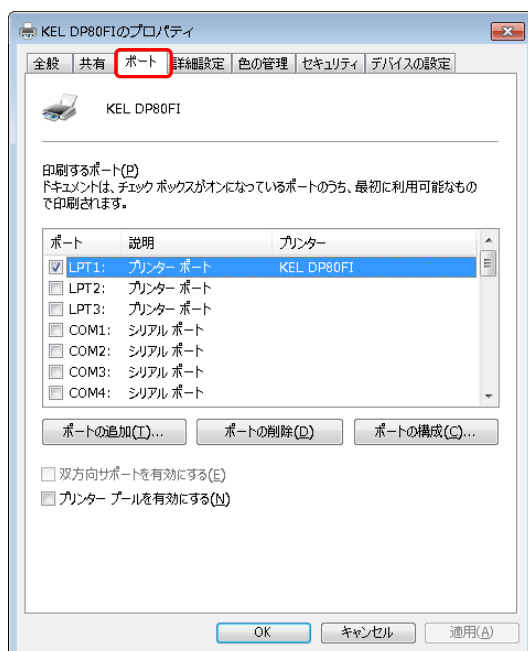
#### 1 プリンターフォルダーを開きます。



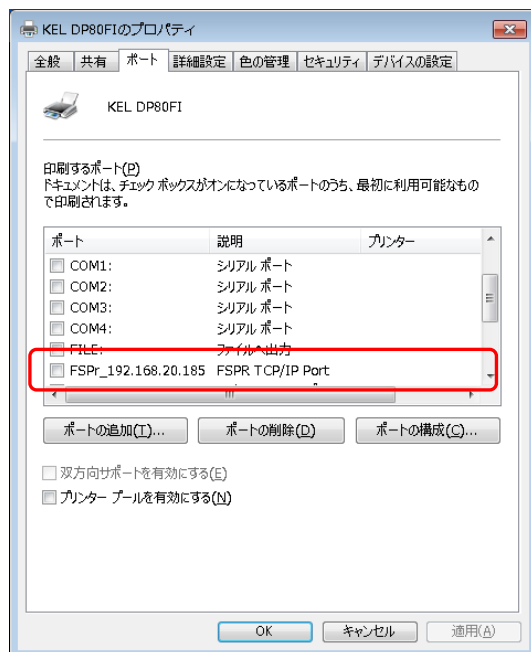
#### ガイド

画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■すべてのプログラム（アプリ）」を参照してください。

#### 2 [KEL DP80FI]プリンタードライバのプロパティ画面を開き、[ポート]シートを表示します。



3 「印刷するポート」の一覧から、作成したプリンター専用TCP/IPポートを選択します。



4 [適用]をクリックします。これでプリンターポートの変更は終了です。

## 4 Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する

本章では、Windows 標準の印刷クライアント機能を利用して印字する方法について、Windows 7の画面例で説明します。

- 注 1) ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタードライバをインストールしてください。
- 注 2) Windows 標準の IPP ポートによる印字はサポートしておりません。
- 注 3) Windows 7 以外をお使いの場合、画面や手順が異なる場合があります。  
そのときは、画面の指示に従って設定してください。

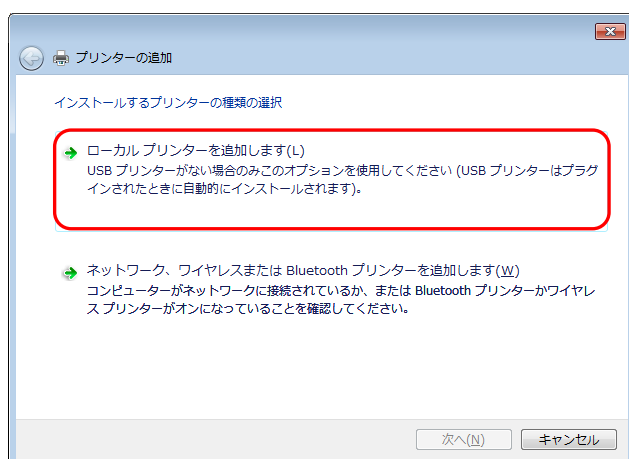
- 1 プリンターの追加画面を開き、「プリンターの追加」をクリックします。



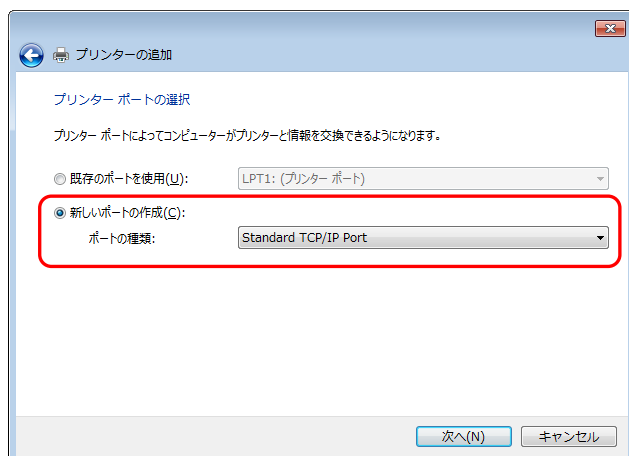
### ガイド

画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■すべてのプログラム（アプリ）」を参照してください。

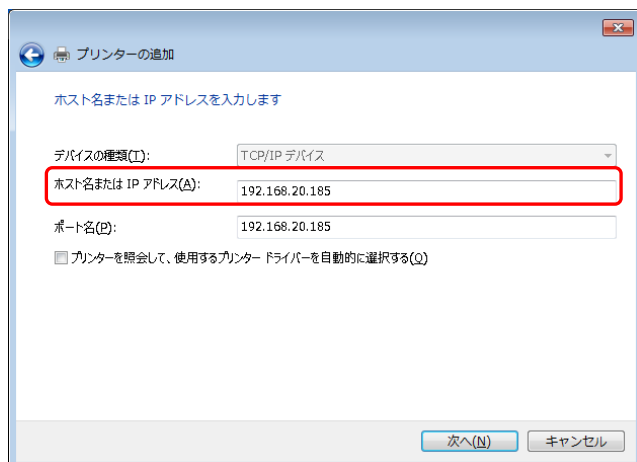
- 2 [ローカルプリンターを追加します(L)]をクリックします。



- 3 [新しいポートの作成]にチェックを付け、ポートの種類は“Standard TCP/IP Port”を選択し[次へ]をクリックします。



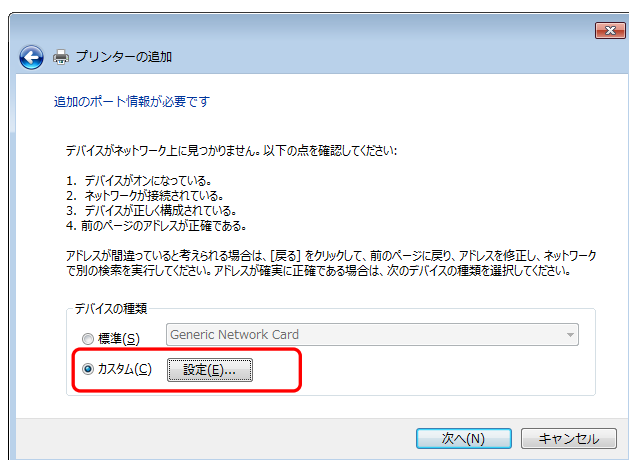
- 4 [ホスト名またはIPアドレス]にLANカード (PR-LN4K)に設定したIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。



#### ガイド

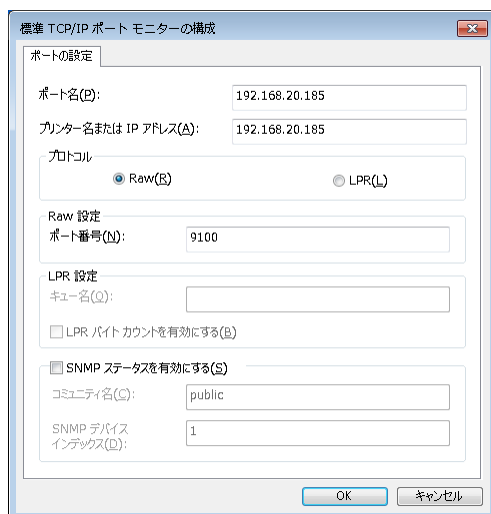
- ・ポート名を規定値にした場合、“IP\_” は付きません。
- ・[プリンターを照会して、使用するプリンタードライバを自動的に選択する]は、チェック状態としてください。
- ・「TCP/IP ポートの検出」画面が表示されます。検出が終わるまでお待ちください。

- 5 [カスタム]にチェックを付け、[設定]をクリックします。





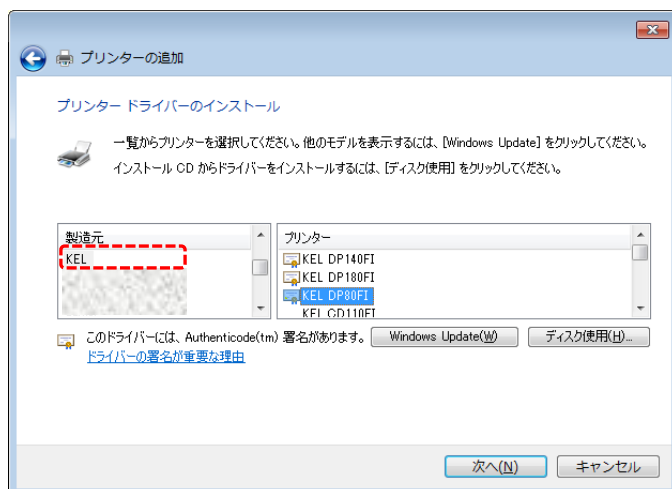
6 [Raw (R)]にチェックを付け、[OK]をクリックします。



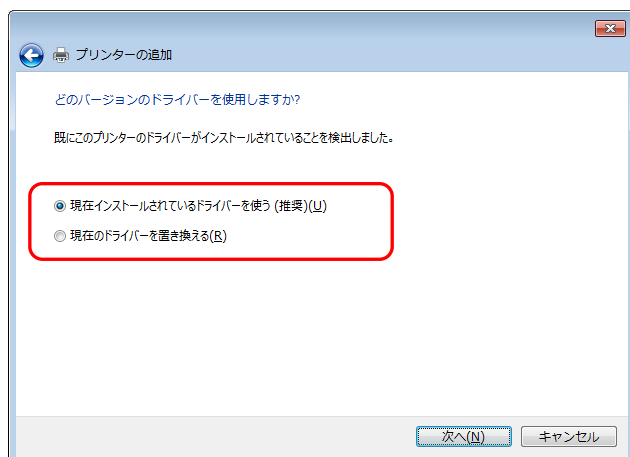
ガイド

- ・ [SNMP ステータスを有効にする(S)]はチェックを付けないでください。
- ・ [OK]をクリックすると、手順 5. の画面に戻ります。[次へ]をクリックします。

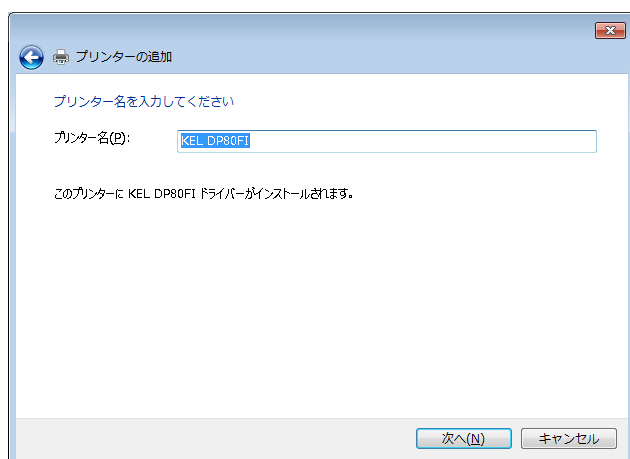
7 プリンタードライバを選択し、[次へ]をクリックします。



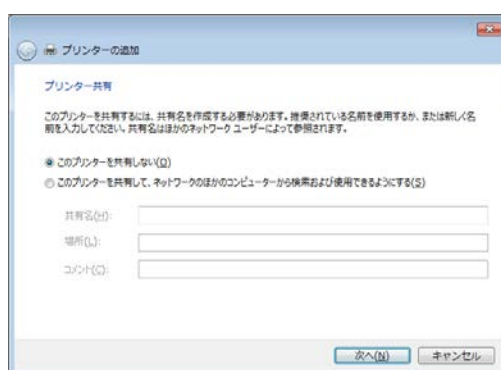
8 お使いになるプリンタードライバを選択し、[次へ]をクリックします。



9 プリンター名を入力し、[次へ]をクリックします。

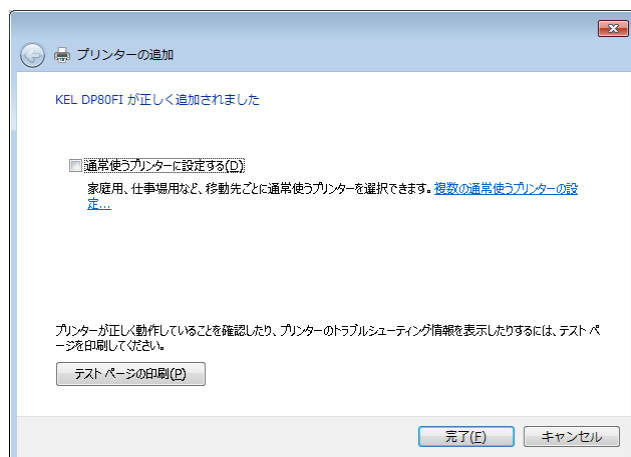


## ガイド



「プリンター共有」画面が表示されたときは、必要に応じてプリンターの共有設定を行ってください。同じネットワーク内にある、ほかのパソコンからこのプリンターをお使いになるときは、[このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする(S)]を選択します。

10 [完了]をクリックします。



#### ガイド

必要に応じ、通常使うプリンターの設定、テストページの印字を行ってください。

11 これで、Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する方法は完了です。

## 5 Web ブラウザで設定する

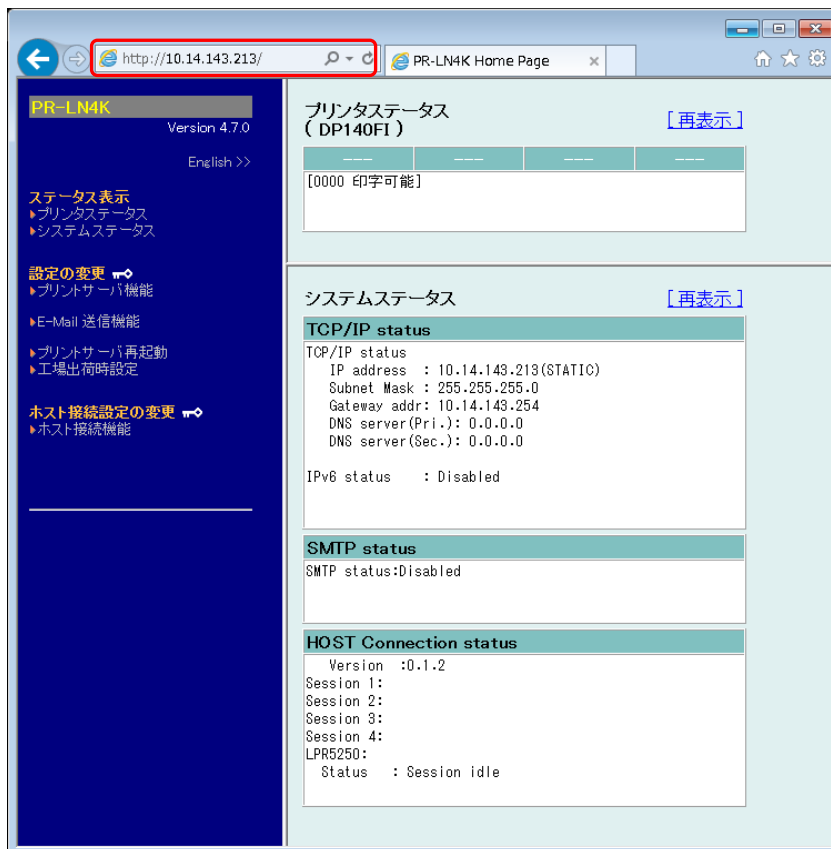
本章では、Webブラウザを利用して、LANカード (PR-LN4K) の詳細な設定を行う方法について説明します。LANカード (PR-LN4K) は、HTTP プロトコルを搭載していますので、Webブラウザを利用した詳細な設定、および設定内容の変更を行うことができます。また、リモートで再起動を行うことができます。

- 注 1) Web ブラウザを利用する場合、本製品の TCP/IP プロトコル設定が有効であり、IP アドレスが設定されている必要があります。
- 注 2) Web ブラウザは、Internet Explorer 11 以降のバージョンを推奨します。また、ご利用になる Web ブラウザによって多少表示が異なる場合があります。
- 注 3) Web ブラウザで設定変更を行った場合は、必ず「プリントサーバ再起動」を実行してください。
- 注 4) 本製品の対象機種によって、Web ブラウザに表示される内容が異なる場合があります。

### 5.1 Web ページを表示する

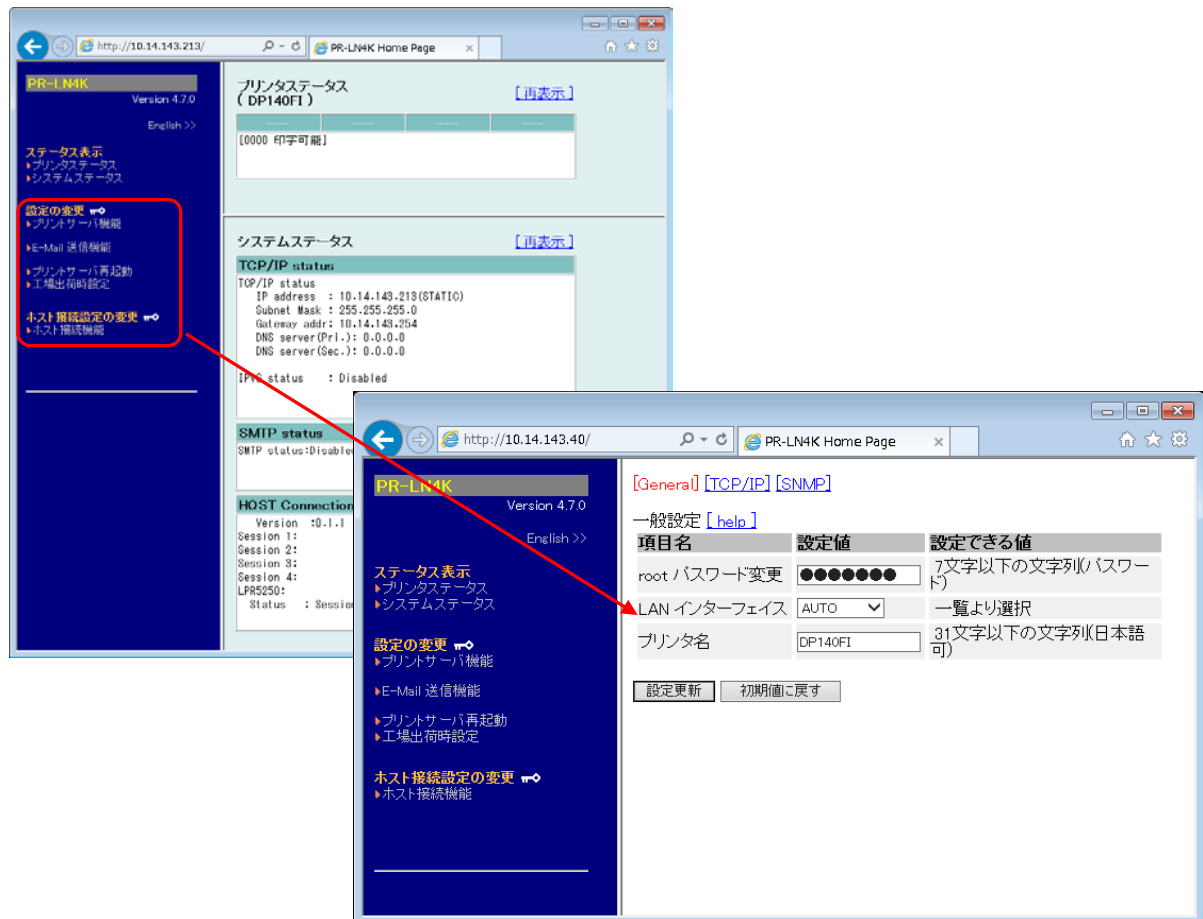
設定を行う LAN カード (PR-LN4K) に設定された IP アドレスを Web ブラウザのアドレスバーに入力し Web ページを表示します。

例 : `http://10.14.143.213`



## 5.2 Web ページから設定する

Web ブラウザに表示されている項目から設定したい項目をクリックすると、設定 Web 画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。



## 5.3 Web ページメニュー構成

ステータス表示	プリンタステータス	プリンターの状態を表示する
	システムステータス	PR-LN4K の設定情報を表示する
設定の変更	プリントサーバ機能	各種設定を行う
	E-Mail 送信機能	E-Mail 送信設定を行う
	プリントサーバ再起動	PR-LN4K の再起動を行う
	工場出荷時設定	工場出荷時設定にする
ホスト接続設定の変更	ホスト接続機能	TN5250E 接続、LPR5250 接続の設定を行う

注 1) 設定変更の項目へ移るとき、ユーザー名を入力する画面が表示されたときは、[root]を入力してください。

注 2) 設定更新 [送信] により設定を更新したときは、[プリントサーバ再起動]を行い、本製品を再起動してください。

注 3) 初期化について・・・

[工場出荷時設定] をクリックすると、本製品を工場出荷時設定に戻します。

[工場出荷時設定] 実行したら、[プリントサーバ再起動] を行い、本製品を再起動してください。

## 5.4 Web ブラウザ設定項目

### 5.4.1 プリントサーバ機能

#### ■ 一般設定

ネットワークの一般的な設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
root パスワード変更	本製品の管理者パスワードをASCII文字列で設定します。 このパスワードは、Webページにて設定変更の認証パスワードとして使用されます。	なし
LAN インターフェイス	物理ネットワークの種別を設定します。 通常はAUTOのまま使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
プリンター名	プリンター名を設定します。 (未設定時は、搭載プリンター名を仮表示します)。	なし

#### ■ TCP/IP設定

IP アドレスなど、TCP/IP プロトコルを使用するための設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
DHCP	DHCPプロトコルの動作を禁止／許可します。 DHCPは起動時に、DHCPサーバよりIPアドレスの取得を行うプロトコルです。本製品のIPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定されたDHCPサーバが稼動していなければなりません。	ENABLE
IP アドレス	本製品のIPアドレスを設定します。 設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。 設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。 [0.0.0.0]を設定するとこの項目は無効になり、IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	本製品のゲートウェイのIPアドレスを設定します。 設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。ゲートウェイは本製品と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。[0.0.0.0]を設定するとこの項目は無効になります。	0.0.0.0
IPv6機能	IPv6機能の動作を禁止／許可します。	DISABLE
タイムアウト	アイドル状態の通信に対するタイムアウト値を秒単位で設定します。 [0]を設定するとこの項目は無効になります。	120
FIN Reply	FIN応答タイミングを受信完了時か印刷完了時か設定します。	RECEIVED

注 1) DHCP “無効” のときの IP アドレス初期値は、192. 168. 192. 168、サブネットマスクは、255. 255. 255. 0 です。

## ■ DNS設定

DNS サーバの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
プライマリサーバ	DNSサーバ(プライマリ)のアドレスを設定します。 IPアドレスを直接設定する場合は、設定する必要はありません。設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	DNSサーバ(セカンダリ)のアドレスを設定します。 IPアドレスを直接設定する場合は、設定する必要はありません。設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。	0.0.0.0

## ■ IP Filter設定

IP フィルタリングの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
動作モード	フィルタの動作を設定します。 設定には[allow]と[deny]があり、[allow]にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。[deny]にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
フィルタ#0 開始アドレス フィルタ#1 開始アドレス フィルタ#2 開始アドレス フィルタ#3 開始アドレス	IPフィルタの先頭アドレスを設定します。 設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。	0.0.0.0
フィルタ#0 終了アドレス フィルタ#1 終了アドレス フィルタ#2 終了アドレス フィルタ#3 終了アドレス	IPフィルタの終了アドレスを設定します。 設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。	0.0.0.0

## ■ SNMP設定

SNMP の設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
認証コミュニティ名	SNMPの認証コミュニティ名を設定します。 このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。	public
Trapコミュニティ名	SNMPのトラップコミュニティを設定します。 このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するとき に使用されます。	public
Trap通知先アドレス	SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。 設定値は、[xxx. xxx. xxx. xxx]の形式で設定します。 [0. 0. 0. 0]を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場 合でもトラップは発行されなくなります。	0. 0. 0. 0
SysContact	MIB-IIオブジェクトのSysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定しておきます。	なし
SysName	MIB-IIオブジェクトのSysNameを設定します。 通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定しておき ます。	なし
SysLocation	MIB-IIオブジェクトのSysLocaitonを設定します。 通常は本製品のある場所を設定しておきます。	なし
EnableAuthenTrap	MIB-IIオブジェクトのEnableAuthenTrapを許可(1)/禁止(2) で設定します。 許可に設定すると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、 SNMPトラップが[Trap通知先アドレス]で設定したIPアドレ スに向けて発信されます。	2
詳細ステータス	プリンターからの詳細なステータスをHost Resource MIBに 反映します。	OFF

注 1) 認証コミュニティ名は、「●●●●●●●●」と表示されますが、工場出荷時の設定は「public」で  
す。



## 5.4.2 E-Mail 送信機能

### ■ 基本設定

SMTP の設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
SMTPプロトコルを使用する	SMTPプロトコルの動作を禁止／許可します。 動作禁止にするとE-Mailの送信機能が停止します。	DISABLE
SMTPサーバ名	SMTPサーバのホスト名を設定します。 ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。 ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。	なし
SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値 (25) のまま使用してください。	25
送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。 通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし
署名1行目 署名2行目 署名3行目 署名4行目	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します	<pre> "-----   " "  PR-LN4K" " [CC:B3:F8:XX:XX: XX]" "-----   "</pre>

### ■ 送信アドレス 1/送信アドレス 2 設定

送信条件の設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
送信先アドレス	送信先のメールアドレスを設定します。	なし
チェック間隔(分)	イベントの記録があるかを一定間隔でチェックします。 この間隔を分単位で設定します。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
オフライン 紙切れ プリンタ異常	メールにて通知するプリンタステータスをON/OFFで設定します。	OFF

## 5.4.3 5250E 接続機能

### ■ TN5250E基本設定

#### 1 IBM i の IP アドレスを確認します。

IBM i 上のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。

WRKTC PSTS \*IFC [ 実行キー ]

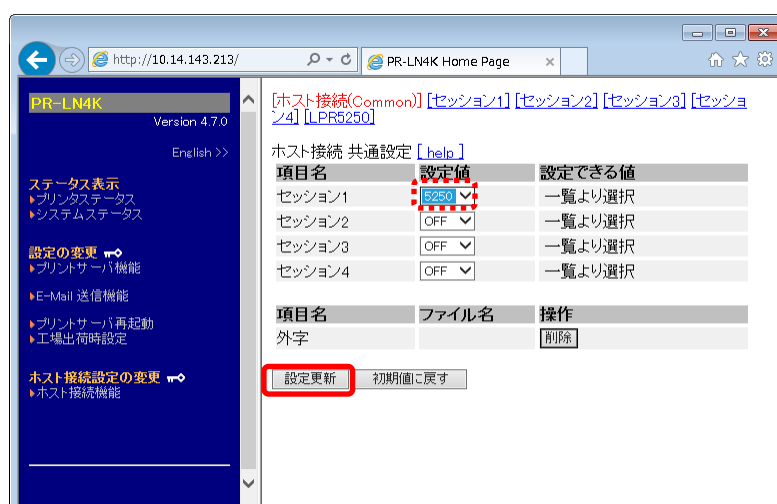
TCP/IP インターフェイス 状況の処理				
OPT	インターネット・アドレス	ネットワーク・アドレス	回線記述	インターフェイス 状況
—	10.14.133.96	10.14.133.0	ETERNET	活動中

#### 2 プリンターの Web ページの左側（青いセル）の「ホスト接続」をクリックします。

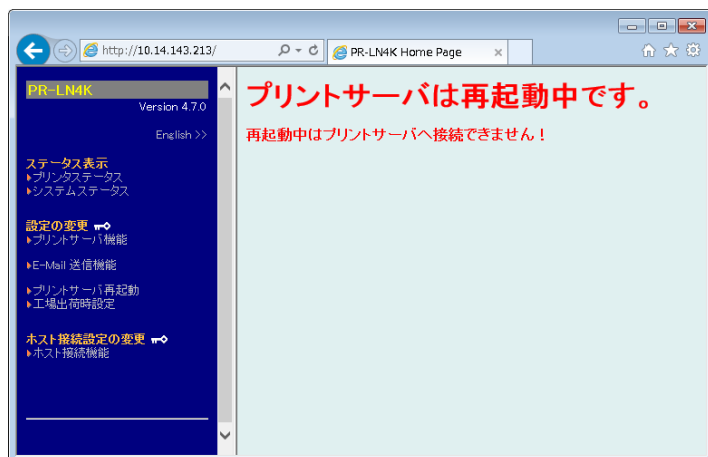


ユーザー名 : root  
パスワード : (なし)

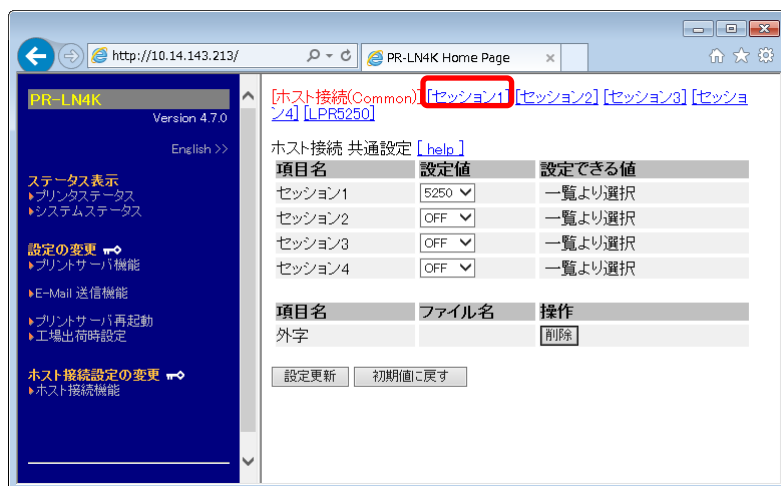
#### 3 TN5250Eは、4つのセッションをサポートしています。 利用するセッションの設定値を「5250」を選択し「設定更新」をクリックします。



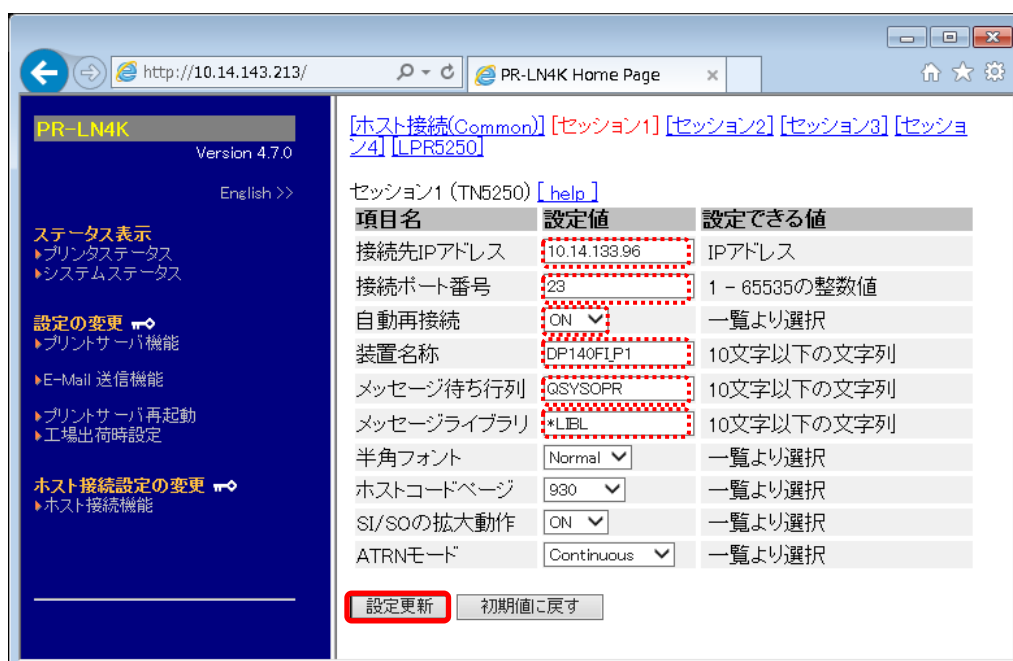
4 一度初期化動作します。



5 再度「ホスト接続機能」をクリックしてホスト接続共通画面を表示して、「セッション1」をクリックします。

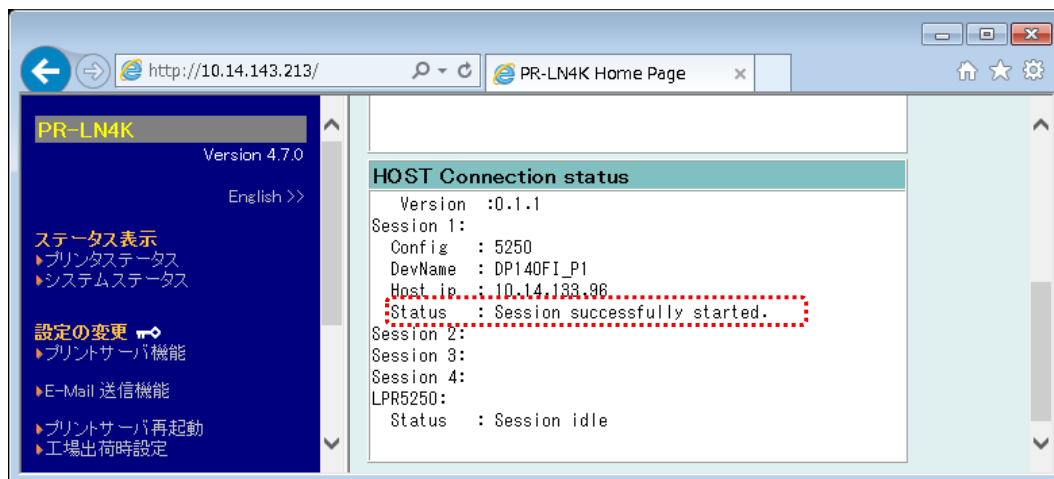


6 接続するためにはセッション毎に以下の設定が必要です。



項目	設定内容	工場出荷設定
接続先IPアドレス	接続先ホストのIPアドレスを設定してください。	0.0.0.0
接続ポート番号	接続先で使用するポート番号を設定してください。 値は1～65535です。	23
自動再接続	接続が失われた時に、自動的に接続をする場合は「ON」、 接続をしない場合は「OFF」を選択します。	ON
装置名称	装置名称 (DEVNAME) を定義します。半角の英数字で最大10文字 まで指定できます。なお、使用可能文字には、以下の制限が あります。 1文字目：A～Z, @, #, \$ 2文字目以降：A～Z, 0～9, @, #, \$, _	なし
メッセージ 待ち行列	ホスト・コンピュータ上でこの接続と関連させるメッセー ジ待ち行列 (MSGQNAME) を半角の英数字10文字以内で設定しま す。なお、使用可能文字には、以下の制限があります。 1文字目：A～Z, @, #, \$ 2文字目以降：A～Z, 0～9, @, #, \$, _	QSYSOPR
メッセージ ライブラリ	メッセージ待ち行列が存在するライブラリ (MSGQLIB) を半角 の英数字10文字以内で設定します。なお、使用可能文字には、 以下の制限があります。 1文字目：A～Z, @, #, \$ * 2文字目以降：A～Z, 0～9, @, #, \$, _	*LIBL
半角フォント	半角フォントを指定します。	Normal
ホストコード ページ	ANKテーブルを指定します。930 [英数が可] 931 [英数英小文 字] 930EX [英数が拡張] 939 [英数小文字拡張]	930
SI/SOの拡大動作	SI/SOの制御コードが、文字拡大指定範囲に含まれたときに SI/SOが拡大修飾の影響を受けるようにしたい場合は「ON」を、 そうでなければ「OFF」を指定してください。	ON
ATRNモード	SCS ATRNコマンドのフォーマットを指定します。	Continuous

- 7 「設定更新」をクリックすると再び初期化され設定が反映されます。  
正常にTN5250Eセッションが確立されるとステータス表示は下のようになります。



- 8 正しく設定がされているとIBM i上に制御装置、装置記述が作成されます。  
WRKCFGSTS \*CTL [実行キー]

構成状況処理			
CTL	記述	状況	ジョブ
:			
—	QVIRCD0001	活動状態	
—	DP140FI_P1	活動状態	
:			

## ■ TN5250E 接続時の電源オフ

プリンターの電源をオフにする場合、必ず以下の手順を行ってください。

- 1 プリンターがオンライン状態の場合、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にします。
- 2 操作パネル上に[デングエンオフシテクダサイ]のメッセージが表示されるまで、**リセット**スイッチを押し続けます（約5秒間）。（ブザーが鳴ります。）
- 3 「電源」スイッチを「○（切）」側に倒して、プリンターの電源を切ります。

### 【注意】

- ・上の操作を行わずに電源を切ると、次にプリンターの電源を入れたとき、ホストと接続されない場合があります。

## ■ TN5250E 接続時印刷の取消

I B M i に対して印刷を取消する場合は以下の手順を行ってください。

- 1 プリンターが印刷中の場合、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にします。
- 2 **リセット**スイッチを押します。LCDパネルに「 ショキマスカ / Y:リセット N:オンライン 」の表示がされます。
- 3 **リセット**スイッチを押すと I B M i に取消要求が送られます。
- 4 印刷可能状態に戻す場合は**オンライン**スイッチを押してください。

### 【注意】

- ・I B M i から印刷中に「保留」の操作をした際に、プリンターの受信バッファにデータが残っている場合がございます。受信バッファのデータを打ち切らずに印刷をすぐに取りやめたい場合は、上の操作を行うことで印刷の取消をすることができます。

## 5.4.4 LPR5250 接続機能

### ■ 出力待ち行列作成

1 IBM i 上のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。

CRTOUTQ [ 実行キー ]

出力待ち行列作成 (CRTOUTQ)		
出力待ち行列 . . . . .	OUTQ	> <u>DP140FI</u>
ライブラリー . . . . .		<u>*CURLIB</u>
スプール・ファイル最大サイズ :	MAXPAGE	—
ページ数 . . . . .		<u>*NONE</u>
開始時刻 . . . . .		
終了時刻 . . . . .		
値の続きは+		
待ち行列上のファイルの順序 . . .	SEQ	<u>*FIFO</u>
遠隔システム . . . . .	RMTSYS	> <u>*INTNETADR</u>
遠隔印刷装置待ち行列 . . . . .	RMTprtQ	> <u>PC5250</u>
自動開始する書き出しプログラム .	AUTOstrwtr	<u>*NONE</u>
書き出しプログラム MSG 用待ち行列	MSGQ	<u>QSYSPRO</u>
ライブラリー . . . . .		<u>*LIBL</u>
接続タイプ . . . . .	CNNtype	> <u>*IP</u>
宛先タイプ . . . . .	DESttype	<u>*OS400</u>
ホスト印刷の形態 . . . . .	TRANSFORM	> <u>*NO</u>
ユーザー・データ変形 . . . . .	USRdatfm	<u>*NONE</u>
ライブラリー . . . . .		
インターネット・アドレス . . . .	INTNETADR	> <u>10.14.143.213</u>
:		

網掛け部分を設定してください。

OUTQ : 任意の出力待ち行列名を設定してください。  
RMTSYS : “\*INTNETADR” を設定してください。  
RMTprtQ : プリンターのキュー名を“PC5250”にしてください。  
CNNtype : “\*IP” を設定してください。  
TRANSFORM : “\*NO” を設定してください。  
INTNETADR : プリンターの I P アドレスを設定してください。

## ■ プリンターの起動

### 1 出力待ち行列が作成されたことを確認します。

I B M i 上のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。

WRKOUTQ [ 実行キー ]

全ての出力待ち行列の処理					
OPT	待ち行列	ライブラリ	ファイル	書出しプログラム	状況
:	:	:	:	:	:
—	DP140FI	QUSRSYS	0		RLS
:	:	:	:	:	:

### 2 出力待ち行列を起動します。

I B M i 上のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。

STRRTWTR DP140FI FORMTYPE(\*ALL \*MSG) [ 実行キー ]

全ての出力待ち行列の処理					
OPT	待ち行列	ライブラリ	ファイル	書出しプログラム	状況
:	:	:	:	:	:
—	DP140FI	QGPL	0	DP140FI	RLS
:	:	:	:	:	:
コマンド					
===>					
F3=終了 F4=プロンプト F5=最新情報 F12=取消し F24=キーの続き					
読み取りプログラムまたは書出しプログラム 02382/QSPLJOB/ DP140FI_P1 は、ライ...					

正常に動作した場合は網掛けのようなメッセージを表示します。

## ■ 接続テスト

### 1 PINGコマンドを発行します。

I B M i 上のコマンド行で、DPFIシリーズのIPアドレスに向けて以下のコマンドを実行してください。

PING '10.14.143.213' [ 実行キー ]

### 2 結果を確認します。

I B M i 上のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。

WRKJOB [ 実行キー ]

10 [ 実行キー ]

[ F10 キー ]

[ 前頁キー ]

#### 全ての出力待ち行列の処理

8 > PING '10.14.143.213'

ホスト・システム 10.14.143.213 への接続を検査中である。

接続検査 1 に.208 秒かかった。1 への接続検査は正常に行なわれました。

接続検査 2 に.007 秒かかった。2 への接続検査は正常に行なわれました。

接続検査 3 に.017 秒かかった。3 への接続検査は正常に行なわれました。

接続検査 4 に.025 秒かかった。4 への接続検査は正常に行なわれました。

接続検査 5 に.007 秒かかった。5 への接続検査は正常に行なわれました。

往復（ミリ秒）最小／平均／最大 = 7/52/208

接続検査の統計：5 の 5 は正常に実行された（100%）。

### 3 正常に接続されている場合上のようなメッセージが表示されます。



## 5.4.5 IBMi からの外字印刷

TCP/IP 接続で外字印刷をするためには、KEL DPFi シリーズ に外字を登録する必要があります。

### 【注意】

- ・ 漢字コード 6941～7FFE は外字登録エリアとなっています。
- ・ 外字が未登録の場合には ‘ ’ （空白）を印刷します。
- ・ 1つの外字ファイルが扱える文字数は 1,880 文字です。
- ・ 外字ファイルは全 TN5250E セッション・LPR5250 接続で共通です。  
セッション毎に異なる外字ファイルを登録することはできません。
- ・ 外字はユーザーが責任を持って管理してください。

外字登録方法は以下の 2 通りあります。各々について説明します。

- (1) LODPPW コマンドによる外字登録
- (2) Windows の外字エディタで外字を作成し登録する方法

### 【注意】

追加登録はできません。現在の外字に追加分を加えたファイルを作成し再登録してください。

## ■ LODPPW コマンドを使用して外字を登録する方法

1 IBMi 上で、以下のコマンドを実行してください。

LODPPW [ F4 キー ]

### ユーザー定義文字ロード (LODPPW)

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

出力装置	DP140FI_P1	名前, *FILE, *JOB, *SYSVAL
DBCS 文字サイズ	24	24, 32, 40
ロード・オプション	*LOAD	*LOAD, *CLEAR
範囲:		
開始文字	*FIRST	1-9999, *FIRST
終了文字	*LAST	1-9999, *LAST

- 1) 出力装置 : 外字登録を行う印刷装置記述名を指定します。
- 2) DBCS 文字サイズ : "24" を指定してください。
- 3) ロード・オプション : "\*LOAD" を指定してください。
- 4) 範囲 : ロードする文字の開始番号・終了番号を指定します。

### 【注意】

- ・ 印刷装置ファイル QPPPPRT が SPOOL=\*NO が指定されていると、エラー・メッセージ「APP5101 印刷装置ファイル QAPS/QPPPPRT がオープンできない」が表示され、ロードできません。  
その場合は、' OVRPRTF FILE(QPPPPRT) SPOOL(\*YES)' と入力後、LODPPW コマンドを実行してください。
- ・ LPR 接続では出力装置名を指定できません。  
そのため任意の出力装置を指定し、登録ファイルを作成します。その後、作成された印刷ファイルの出力待ち行列およびライブラリーを DPFi シリーズ用として作成した出力待ち行列へ変更し、登録します。

## 2 出力装置を入力し、**実行**キーを押してください。

外字登録スプールファイルが作成され、プリンターヘデータが送られます。  
作成されたスプールファイルの転送が終了すれば、登録は完了です。

### <参考情報>

以上の手順を行っても出力できない場合は、以下の項目をご確認下さい。

- ・印刷装置ファイルの中の外字(IGCEXNCHR)を\*NO に指定すると出力できる場合があります。  
(OS/400 のバージョンや PTF のレベルによって、異なる可能性があります)
- ・印刷装置ファイル QPPPPRT のスプールが印刷終了しているか、LODPPW を実行したセッションで WRKJOB にて状況を確認してください。

## ■Windowsの外字エディタで外字ファイルを作成し登録する方法

外字の作成および外字ファイルのアクセスには、管理者権限が必要です。  
本章の作業は管理者権限を有する I D で実施してください。

### <参照>

KEL ラインプリンターの外字登録用にすでに作成されている外字ファイル"mrxfnt.fnt"を、m52fnt.fnt ヘリネームしてそのまま使用することが可能です。9 へ進んでください。

## 1 プリンター付属のサポートCD-ROMの"UTILITY"を選択し、"kelfntc.exe"をWindowsの任意の作業用フォルダーにコピーします。

### <参照>

kelfntc.exe は、Windows の外字を、KEL DPFI シリーズへ登録できる形式に変換したファイルを作成するユーティリティです。


## 2 Windowsの外字エディタを使用して外字ファイルを作成します。

端末画面の表示用にすでに外字が作成済みの場合は、3 へ進んでください。  
外字エディタを起動するには、「ファイル名を指定して実行」へeudceditと入力して「OK」ボタンを押します。

### 【注意】

- ・Windows Server2008R2/Server2012 系で外字エディタを使用するには、デスクトップエクステンションが導入されている必要があります。

### <「ファイル名を指定して実行」の起動方法>

- ・Windows7/Server2008 系  
「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- ・Windows8.1/Server2012 系  
スタート画面でを押し、「ファイル名を指定して実行」をクリックする

例) 外字エディタ起動画面



外字の作成が終了したら、作成した外字を保存して外字エディタを終了します。


### 3 作成した外字のファイルを検索します。

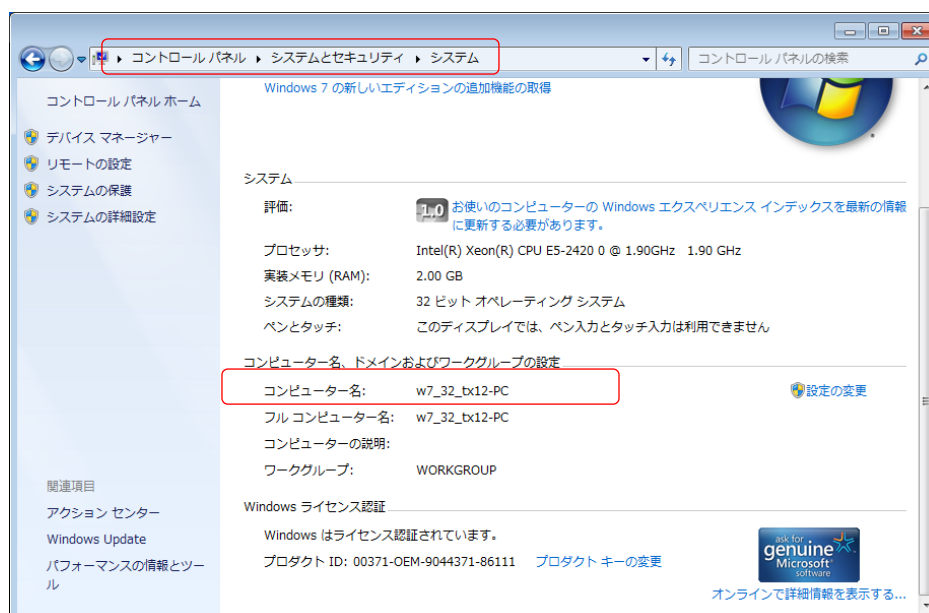
外字の規程の保存先はeudc.eufファイルで、保存先はc:\windows\fontsフォルダーですが、特殊なフォルダーであるため、通常の操作でエクスプローラーを開いてもeudc.eufファイルが表示されません。

eudc.eufが表示される状態でエクスプローラーを起動するには、2) の手順で「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「¥¥コンピュータ名¥c¥¥Windows¥Fonts」と入力して「OK」ボタンを押します。

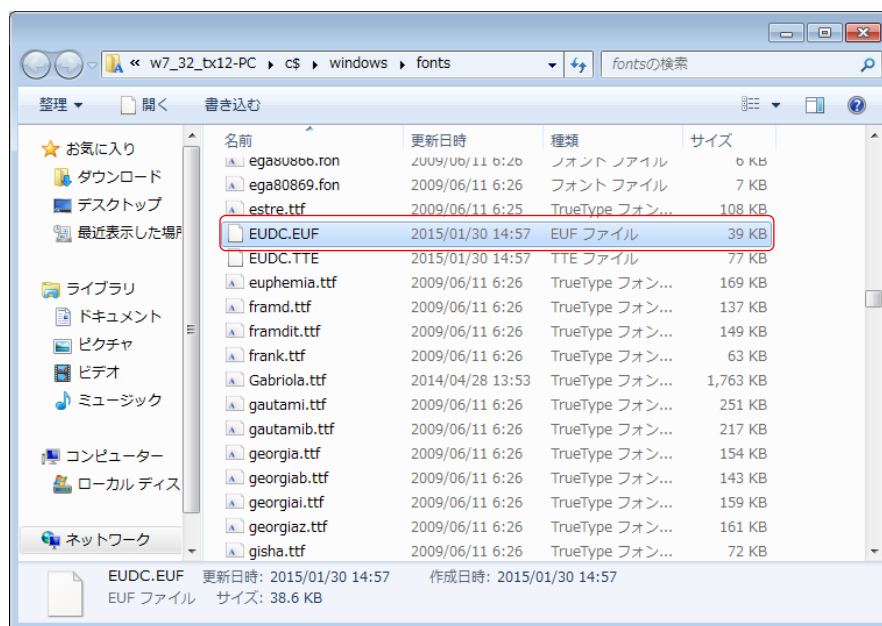
コンピュータ名がわからない場合は、「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」で確認します。

<「コントロールパネル」の起動方法>

- Windows7/Server2008 系  
「スタート」メニューの「コントロールパネル」をクリックする
- Windows8.1/Server2012 系  
スタート画面でを押し、「コントロールパネル」をクリックする



4 エクスプローラー起動後、eudc.eufを探します。




5 検索したeudc.eufファイルを、1 の作業用フォルダーにコピーします。

【注意】

- ・ eudc.euf ファイルが元場所からなくなならないよう、必ずコピーしてください。ドラッグ&ドロップ操作ではファイルは移動になりますので、元場所からなくなってしまう。

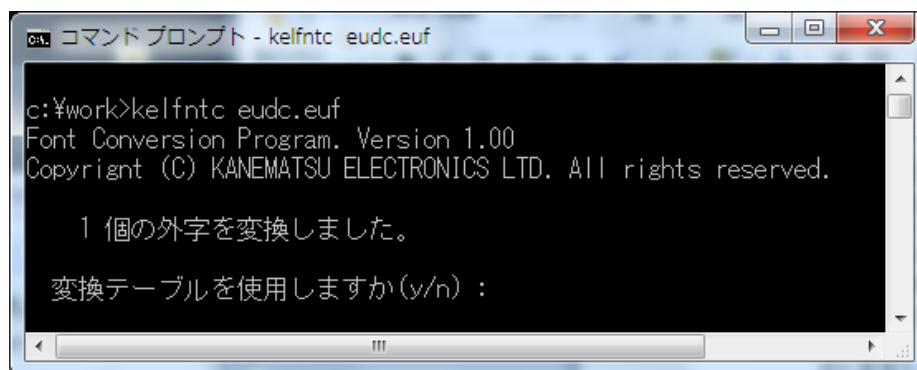
6 「コマンドプロンプト」を起動します。

<「コマンドプロンプト」の起動方法>

- ・ Windows7/Server2008 系  
「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックする
- ・ Windows8.1/Server2012 系  
スタート画面で  を押し、「コマンドプロンプト」をクリックする

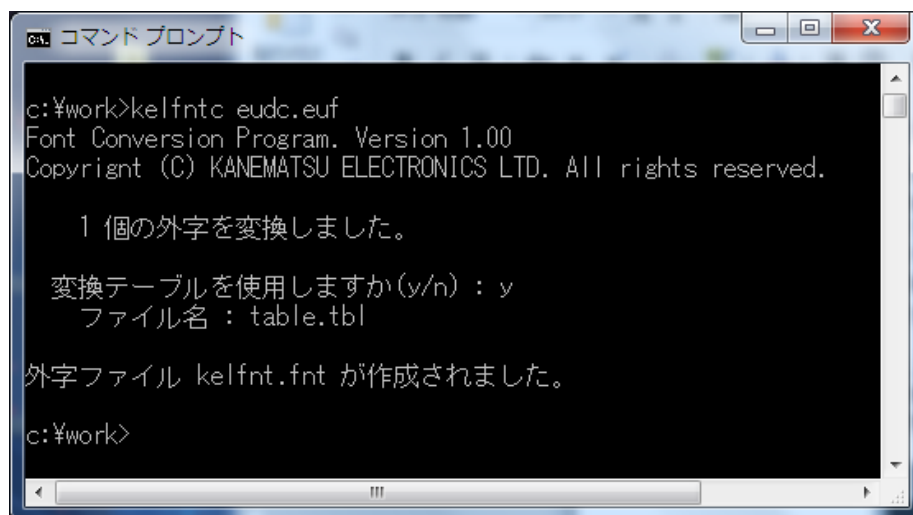
7 KEL DPFIシリーズ登録用の外字ファイルを作成します。

作業フォルダーに移動し、「kelfntc」に続けて検索した外字ファイル名を入力して実行します。



- 8 変換テーブルを使用する場合”y”を入力し、変換テーブルファイル名を入力します。KEL DPF I シリーズへ登録するための外字ファイル”kelfnt.fnt”が作成されます。

変換テーブルは、パーソナルコミュニケーションズを使用した端末画面の表示用にすでに外字が作成済みで、ユーザー独自にユーザー・フォント・エリアの変換テーブルを作成して使用している場合にのみ必要となります。

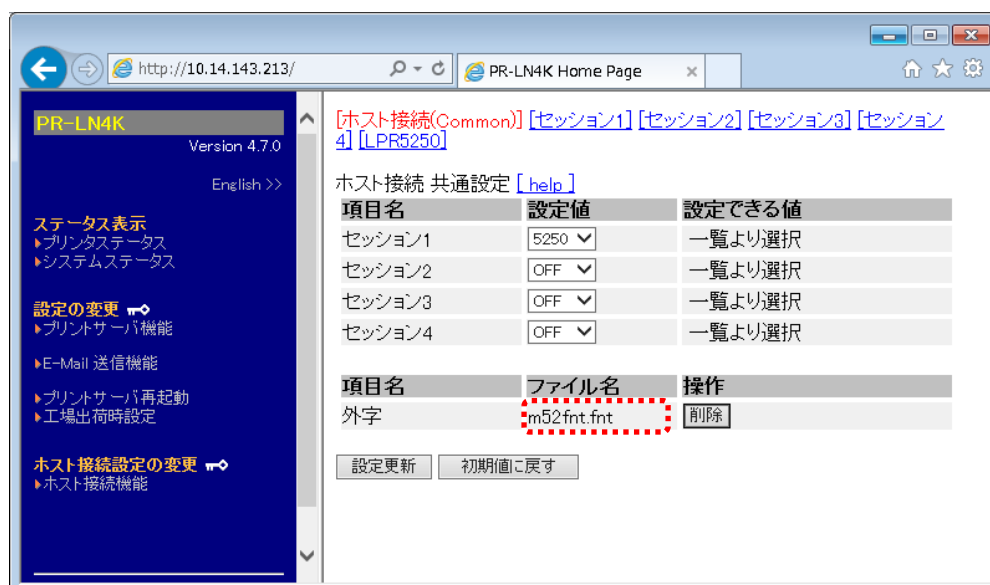


- 9 作成された外字ファイル名は必ず、**m52fnt.fnt** のファイル名に変更してください。以上で登録する外字ファイルの作成は完了です。

【注意】

DPFI シリーズは、**m52fnt.fnt** でのみ外字登録できます。

- 10 登録された外字はWeb設定のホスト接続機能の画面から確認することができます。



---

## 6 トラブルシューティング

---

本章では、LANカードでご利用の時に想定される問題と、その解決法について説明します。

### ■ 文中マークの見方

[確認]：問題が起きた時に、はじめに確認してください。

[対策]：問題解決のための具体的な手段です。

## 6.1 導入時の問題

### ■ IPアドレスの設定を行うと通信エラーになる

[確認 1]

PR-LN4K の LINK/STATUS LED が正常に点灯しているか確認してください。

- ・ プリンターの電源は ON になっていますか？
- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していないか確認してください。

[確認 2]

設定ツールを起動しているパソコン側の IP アドレスが確定しているか確認してください。

- ・ ご使用のパソコンおよびネットワークに存在する他のパソコンと通信ができていますか確認するために、コマンドプロンプトより Ping コマンドを実行してください。



#### ガイド

Ping コマンドの使用方法については、『6.3 Windows TCP/IP 環境での問題』「■ 印字が行えません」の[確認 1]を参照してください。

[確認 3]

本製品が初期化されているか確認してください。

- ・ 本製品を工場出荷設定に戻す方法については、『5.3 Web ページメニュー構成』の「注 3) 初期化について」を参照してください。

[確認 4]

本製品に不正な IP アドレスを設定している可能性があります。

- ・ ルータやサーバが不正な IP アドレスを設定していないか確認してください。
- ・ 不正な IP アドレスが設定された本製品は、ルータやサーバが存在しない環境(パソコン 1 台、HUB 1 台、本製品が接続されたプリンター 1 台のローカル環境)を作成し、パソコンを本製品と同じセグメント内の IP アドレスに設定してから、ツールを起動して TCP/IP の設定で[IPアドレスを指定]に変更して正しい IP アドレスを設定してください。またその後、元の環境に戻してください。



#### ガイド

不正な IP アドレスを設定するルータやサーバがある場合、本製品の TCP/IP 設定を「IP アドレスを自動的に取得」にすると、自動的に不正な IP アドレスが設定され、IP アドレスの変更や初期化ができなくなります。

[確認 5]

本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内に無い可能性があります。

- ・ 本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内にあることを確認してください。

[確認 6]

本製品が取り付けられたプリンターを他のネットワークへ移設していませんか？

ネットワーク上に DHCP サーバが存在している環境から、[工場出荷設定に戻す]作業を行わない状態で、DHCP サーバが存在しない環境へ移設した可能性があります。

- ・ 移設前の環境へ接続し、Web ページから[工場出荷設定に戻す]作業を行ってください。



**ガイド**

---

本製品が取り付けられたプリンターを他のネットワークに接続するときは、事前に[工場出荷設定に戻す]作業を必ず行ってください。

## 6.2 印字時の問題

### ■ 印字が行えません

[確認]

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- ・ プリンターの電源は ON になっていますか？
- ・ 稼動している本製品と接続イーサネットハブ(HUB)の LINK LED が点灯していますか？
- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
- ・ ネットワークケーブルは断線していませんか？
- ・ イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していませんか？

### ■ 印字したいプリンターが動作せず、他のプリンターに印字されてしまう

[確認]

- ・ 印字したいプリンターと他のプリンターの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？
- ・ IP アドレス設定を確認し、再設定を行ってください。

### ■ 印字が途中で停止してしまう

[確認 1]

- ・ 印字中のプリンターと他のプリンターの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？

[確認 2]

多数の印字データを送っていませんか？

- ・ 多数の印字データを送ると、印字が一時停止することがあります。  
一定時間経過すれば印字が再開されますのでお待ちください。

### ■ 印字を中止したい

[対策]

再印字を正しく行うには、以下の手順で印字を中止してください。

- (1) プリンターフォルダーより印字に使用したプリンターを開く。
- (2) スプーラーにある印字中のドキュメントを削除する。
- (3) プリンターの電源を OFF/ON する。



## 6.3 Windows TCP/IP 環境での問題

### ■ 印字が行えません

#### [確認 1]

TCP/IP プロトコルを使用している場合、本製品に割り当てた IP アドレスに、Ping コマンドを使って、応答があるか確認してください。Ping コマンドによる応答がない場合、IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。そのときは、本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻し、再度 IP アドレスの設定を行ってください。



#### ガイド

- Windows 7 のコマンドプロンプトで、ping を実行するときの例です。  
[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] で右クリックし [管理者として実行...] を選択し、Ping XXX.XXX.XXX.XXX を実行すると下記内容が表示されます。  
※ XXX.XXX.XXX.XXX は本製品の IP アドレスです。
  - ◆ Ping に応答がある場合  
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255  
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255  
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255  
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255
  - ◆ Ping に応答がない場合  
Request timed out.  
Request timed out.  
Request timed out.  
Request timed out.
- 本製品を工場出荷設定に戻す方法については、『5.3 Web ページメニュー構成』の「注 3) 初期化について」を参照してください。

#### [確認 2]

使用しているプリンタードライバのプリンターポートの設定ができていない可能性があります。

「プリンター」のプロパティの[詳細]で[印刷先のポート]を確認してください。

#### [確認 3]

お使いのパソコンと本製品が同一セグメント内に無い場合、本製品にサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行う必要があります。本製品の Web ページでサブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認してください。

#### [確認 4]

ネットワーク上に DHCP サーバが存在していると、IP アドレスの自動割当を行うため、本製品に設定した IP アドレスが、各サーバにより書き換えられてしまう可能性があります。各サーバに本製品の IP アドレスを自動的に割り当てられないように、プリンター設定項目 [DHCP]="DISABLE" に設定されているか確認し、再度 IP アドレスの設定を行ってください。

### ■ 印字中にエラーが発生します

#### [確認]

他の人が大量に印字を行っていたり、大きなサイズのデータを印字したりしている時に印字を行った場合、他の人の印字が終了するまで印字ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなることがあります。そのときは、再度印字を行ってください。

## 6.4 IBMi 接続環境での問題

TN5250E および LPR5250 で想定される問題と、その解決法について説明します。

### ■ Web画面のステータスで確認できること



ステータス表示内容

表示	内容	対処
Idle, not connected.	ホストと接続していない状態です。(初期状態)	
Connecting. . .	ホストへ接続を行っている状態です。	
Unexpectedly disconnected.	接続が切断されたか、接続に失敗した状態です。 自動再接続が「OFF」の場合表示されます。	
Unexpectedly disconnected, wait reconnect.	接続が切断されたか、接続に失敗した状態です。 自動再接続が「ON」の場合表示されます。(待機状態)	
Session successfully started.	通常の接続を開始します。	
Session idle.	ホストと接続状態で印刷を行っていない状態です。	
Printing.	印刷中です。	
Not Ready.	印刷中に印刷できない状況になりました。	用紙切れ 用紙ジャム など
Clear command received.	ホストよりクリアコマンドを受信しました。	
Graphic check.	未定義文字を受信しました。	オンラインス イッチで回復
Invalid parameter. (xxxx)	ホストからのデータに異常なデータを検出した。	電源OFF/ON
Received data error.	通信データに異常を検出した。	電源OFF/ON
Machine Check.	回復不可能なハードウェアエラーが発生した。	電源OFF/ON
Internal error. (xxxx)	回復不可能な内部エラーが発生した。	電源OFF/ON
Printer power down sequence.	通信切断のため電源オフ操作を実施した。	電源OFF/ON

※電源OFF/ONを必要とするエラーが頻発する場合は保守員にご連絡ください。

---

## 7 使用上の注意

---

本章では、プリンターをネットワーク環境で使用する時の注意事項について説明します。

### ■ TN5250E 接続時の電源オフ

プリンターの電源をオフにする場合、必ず以下の手順を行ってください。

- 1 プリンターがオンライン状態の場合、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にします。
- 2 操作パネル上に[デングンオフシテクダサイ]のメッセージが表示されるまで、**リセット**スイッチを押し続けます（約5秒間）。（ブザーが鳴ります。）
- 3 「電源」スイッチを「○（切）」側に倒して、プリンターの電源を切ります。

#### 【注意】

- ・上の操作を行わずに電源を切ると、次にプリンターの電源を入れたとき、ホストと接続されない場合があります。

### ■ TN5250E 接続時印刷の取消

I B M i に対して印刷を取消する場合は以下の手順を行ってください。

- 1 プリンターが印刷中の場合、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にします。
- 2 **リセット**スイッチを押します。LCDパネルに「 ショキマスカ / Y:リセット N:オンライン 」の表示がされます。
- 3 **リセット**スイッチを押すと I B M i に取消要求が送られます。
- 4 印刷可能状態に戻す場合は**オンライン**スイッチを押してください。

---

## LAN 接続設定ガイド

発行日      2019 年 2 月 第 1 版  
発行責任    兼松エレクトロニクス株式会社

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。